

姉妹都市連携企画・  
門外不出の藤沢市コレクション

# 江戸の島 浮世絵展

（信仰と観光の歴史）

北斎  
HOKUSAI

歌麿  
UTAMARO

広重  
HIROSHIGE



葛飾北斎《富嶽三十六景 相州江の島》 文政年間末期（1829-30年）



喜多川歌麿《風流四季の遊 弥生の江之島詣》  
享和年間（1801-04年）



歌川広重《相州江の島弁才天開帳参詣群集之図》 弘化4年-嘉永5年頃（1847-52年）

The Collaborated Project of the Sister Cities: The First Exhibition of Fujisawa City Collection in Matsumoto

## SPECIAL EXHIBITION : ENOSHIMA ISLAND IN UKIYO-E HISTORY OF WORSHIP AND TOURISM

2018. 8.14(火) ~ 9.30(日)

会場 / 松本市美術館 常設展示室B・C

開館時間 / 9:00 ~ 17:00 (入場は16:30まで)

休館日 / 9月3日(月)・10日(月)・18日(火)・25日(火)

観覧料 / 大人410円、大学高校生200円

※20名以上の団体は100円引き

※70歳以上の松本市民無料、中学生以下無料、障害者手帳携帯者とその介助者1名無料

主催 / 松本市、松本市教育委員会、藤沢市、藤沢市教育委員会



松本市美術館  
MATSUMOTO CITY MUSEUM OF ART



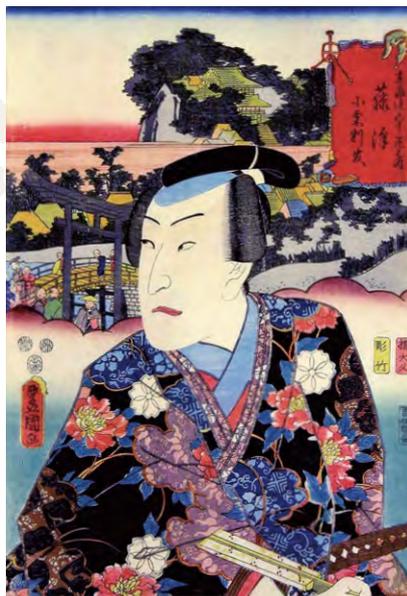
歌川国芳《七里ヶ浜より江のしまの遠景》弘化4年-嘉永5年頃(1847-52年)

# 江の島 浮世絵展

～信仰と観光の歴史～

神奈川県藤沢市と松本市は、互いに交流を図る「海と山との市民交歓会」がきっかけとなり、1961年に姉妹都市提携をしました。以来、半世紀以上にわたり様々な分野で交流を行っています。

本展は、2016年7月に開館した藤沢市藤澤浮世絵館の所蔵品による、湘南のシンボル「江の島」をテーマとした特別展です。喜多川歌麿、葛飾北斎、歌川広重、歌川国芳ら名だたる絵師による初期の江の島風景や風俗、江の島参詣を描いた群集図、藤沢宿と東海道五十三次の世界など約80点の浮世絵をご紹介します。藤沢市が誇る魅力あるコレクションをとおり、姉妹都市の郷土文化に触れるとともに、さらに交歓を深める機会となれば幸いに存じます。



- 1 歌川国貞(三代豊国)《東海道五十三次之内 藤沢 小栗判官》嘉永5年(1852年)
- 2 北尾重政《浮絵江の島金亀山并七里ヶ浜鎌倉山之図》天明年間(1781-89年)
- 3 歌川芳豊/五葉舎万字《当年新板 東海道名所案内双陸》文久2年(1862年)
- 4 勝川春章《相州江之島ノ風景腰越ノ方ヨリ見図》天明年間(1781-89年)

## ◎関連プログラム

### ◆講演会「江の島弁財天信仰と浮世絵」

講師/鈴木 良明(鎌倉国宝館館長、藤沢市藤澤浮世絵館運営委員会委員長)  
 日時/8月14日(火) 14:00~15:30  
 会場/多目的ホール  
 料金/無料  
 定員/80名  
 申込/松本市美術館へ(電話0263-39-7400)

### ◆ワークショップ「浮世絵すり体験」

日時/8月14日(火) 10:00~12:00  
 会場/講座室・市民アトリエ  
 料金/無料  
 申込/不要(参加自由)、  
 時間内にご来館のうえ随時受付

アクセス



◇松本バスターミナルからアルピコ交通バス・横田信大循環線 5分【松本市美術館】下車  
 ◇JR松本駅からタウンズニューカー(市内周遊バス)東コース 14分【松本市美術館】下車  
 ※美術館の駐車場には限りがあります。お越しの際は公共交通機関のご利用をお願いします。

◇JR松本駅または松本バスターミナルから徒歩 12分  
 ◇長野自動車道松本インターチェンジから車で 15分

〒390-0811 長野県松本市中央4-2-22  
 TEL 0263-39-7400  
<http://matsumoto-artmuse.jp/>



松本市美術館  
 MATSUMOTO CITY MUSEUM OF ART